



令和7年度

水稻の生育概況 vol.1



埼玉県マスコット
「コバトン」

(令和7年6月5日現在)
埼玉県農業技術研究センター

要約

◎気象概況：4月の気温は平年に比べ1.4℃高かった。降水量は多く、日照時間は平年並であった。

5月の気温は平年並であったが、全般的に降雨が多く、特に5月後半の日照時間はかなり少なかった。

◎生育状況：ほぼ平年並みの生育となっている。

◎今後取るべき技術対策

- ・ 育 苗：温度管理や通風に注意する。苗の老化が見られる場合は追肥を実施する。
- ・ 水 管 理：浅水管理で分けつの発生を促し、有効茎が確保できたら早めに中干しを実施する。
- ・ 病虫害防除：ヒメトビウンカの生息数が多いので、箱施用剤による薬剤防除に努める。

1 気象の概況

4月の平均気温は、第1半旬が平年より低かったほかは高く、特に第4、5月半旬はかなり高く、月平均では平年より1.4℃高かった。降水量は、第2、4半旬が平年よりかなり少なかったほかは平年並～多く、月合計では平年比134%となった。日照時間は、第1半旬を除き平年並～多く、月合計では平年比101%となった。

5月の平均気温は、第2、6半旬が平年より低く、ほかは平年並～高く推移し、月平均は平年並であった。降水量は、第3半旬がかなり少なかったほかは平年並～多く、月合計では平年比157%となった。日照時間は、月全体を通して平年並～少なく推移し、月合計では平年比80%となった。

2 生育の概況

(1) センター内生育相

ア 早期栽培(5月1日植 コシヒカリ)

育苗期間は高温傾向にあったものの、移植時の苗質はおおむね平年並となった。

移植後は植え傷みもなく、活着は良好であり、移植後20日調査では、草丈が平年比108%、莖数は平年比149%、葉位は平年差0.3となった。しかし、移植後30日調査では、5月下旬の気温が平年並から低く、日照時間は平年よりかなり少なかったことから生育は抑制され、葉位は平年並であったが、草丈が平年比93%、莖数は平年比94%、風乾重は平年比82%とな

った。

イ 早植栽培（5月20日植 彩のかがやき）

5月中旬の高温の影響により、苗の葉位の進展はやや早まり、移植時の草丈はやや短かったものの平年並の苗質であった。移植後は植え傷みもなく、活着は良好であった。

（2）県内全般

早期・早植栽培の移植作業は平年並みに進んだ。初期生育はおおむね良好である。5月以降の育苗では気温が乱高下したことから、もみ枯細菌病による苗腐敗病や苗立枯病の発生、5月下旬は低温寡照となったことから、移植苗の活着の遅れや育苗期の苗で生育が不揃いとなる事例が散見されている。

3 今後の生育予測

（1）気象予測

気象庁が6月5日に発表した関東甲信地方の1か月予報では、気温が高い確率が80%、降水量、日照時間はほぼ平年並の見込みとなっている。

また、5月20日発表の関東甲信地方の3か月予報では、7月の天候は、期間の前半は平年と同様に曇りや雨の日が多く、後半は平年と同様に晴れの日が多い見込みで、気温は高い確率が50%と予報されている。

8月は平年と同様に晴れの日が多く、気温は高い確率が50%と予報されている。

（2）生育予測

ア 早期、早植栽培

向こう1か月の平均気温は高いと予報されていることから、生育は早まり、分けつの発生も多くなることが見込まれる。

イ 普通期栽培

向こう1か月の平均気温は高く、日照時間は平年並みと予報されていることから、苗の生育及び初期生育は平年並と見込まれる。

麦あと栽培では、麦の登熟期間中に定期的な降雨があり、小麦の成熟期がやや遅くなっていることから収穫作業が遅延する可能性がある。それに伴い田植作業の遅延と苗の老化が懸念される。

4 今後取るべき技術対策

（1）早期、早植栽培

ア 施肥

葉色を判断しながら生育に応じて適宜追肥を行う。基肥一発施肥体系の場合も同様である。

「彩のかがやき」においては、通常は中間追肥を行わないが、高温等により田植後40～45日頃の葉色が4.5（群落）を下回った場合は直ちに窒素成分で2kg/10a程度を追肥する。

この期間に葉色が低下しすぎると穂肥を施用しても回復しにくくなるため、

ほ場をよく観察し必要に応じて追肥を行う。

イ 病虫害防除

埼玉県病虫害防除所が5月30日に発表した令和7年度病虫害発生予報第2号（6月予報）では、5月中旬までの移植水稻においてヒメトビウンカの発生量が「やや多」と予報されているので、箱施用剤による防除を実施していない場合、「コシヒカリ」等の縞葉枯病感受性品種は本田での防除を行う。

また、昨年県全域において「イネカメムシ」による吸汁害が多発し、減収や着色粒による玄米の品質低下が見られた。「イネカメムシ」は6月下旬から7月上旬に越冬場所から水田に飛来する。水田から水田への移動能力が高いため、発生が多い地域では広域的な防除の実施が望ましい。防除は出穂期と出穂後7～10日に2回行う。

ウ 水管理

有効茎数（20～25本／株）が確保できたら田面に小ひびが入る程度に中干しを実施する。大きなひびが入るような強い中干しは根の生育を阻害し生育に悪影響を与えるため行わない。

エ 雑草防除

ほ場をよく観察し草種に応じた除草剤（中期剤、後期剤）を選択し、適期に防除を行う。

（2）普通期栽培

ア 育苗

原則として追肥は行わないが、移植の遅れ等により肥切れが見られた場合は落水して硫酸等を水に溶かしてジョウロ等で散布する（1箱あたり500ml、窒素成分で0.5g程度）。散布後は葉についた肥料分を清水で洗い流す。

イ 病虫害防除

いもち病（育苗期）が苗に発生した場合は、被覆した寒冷紗をはがすなど通風の改善を図り、薬剤による防除を行う。また、縞葉枯病を感染させるヒメトビウンカの生息数が平年より多いので、箱施用剤で初期防除を行う。

ウ 雑草防除

気温が高い時期は雑草の生育が早まるため、田植後、雑草（特にヒエ）の葉齢を確認し適期防除を行う。老化苗などで苗質が不良の場合、30℃以上の高温条件では除草剤の田植え同時処理の際に、株の枯死や生育阻害などの薬害が発生することがあるので注意する。

解析・考察に用いた具体的数字

1 気象表（熊谷気象台日別測定値から集計）

4月

半旬	平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
1	9.2	11.5	13.4	17.4	4.7	6.2	60.5	15.9	21.9	33.5	
2	14.8	12.5	21.3	18.4	9.4	7.1	0.0	17.4	41.7	33.3	
3	14.6	13.4	19.9	19.5	10.9	8.2	47.0	16.3	28.2	32.4	
4	18.2	14.4	25.7	20.4	11.2	9.3	0.0	14.2	41.1	31.2	
5	18.2	15.3	23.2	21.3	14.0	10.1	6.5	13.5	23.7	31.6	
6	16.9	16.2	23.3	22.3	10.8	10.9	7.5	13.5	42.7	33.2	
平均	15.3	13.9	21.1	19.9	10.2	8.6	合計	121.5	90.7	199.3	197.1

5月

半旬	平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
1	17.7	17.1	23.9	23.2	12.5	11.8	54.5	13.5	40.6	32.9	
2	16.8	17.8	21.7	23.6	13.1	12.7	37.5	14.4	24.5	31.0	
3	19.7	18.3	25.3	24.0	14.4	13.4	2.5	16.5	32.7	30.1	
4	21.1	19.0	26.5	24.8	16.5	14.1	14.5	19.7	20.7	31.3	
5	20.8	19.8	26.0	25.6	16.1	14.9	27.0	21.7	17.0	32.0	
6	18.4	20.5	21.9	26.1	15.6	15.8	45.0	24.9	17.5	37.6	
平均	19.1	18.8	24.1	24.6	14.7	13.9	合計	181.0	115.1	153.0	192.0

注) 半旬数値は熊谷地方気象台日別測定値から集計。ただし、月平均・合計は気象台値。

平年値は1991～2020年の気象台値。

2 早期栽培（5月1日植 コシヒカリ）

(1) 苗質

草丈(cm)			葉位(L)			風乾重(g/100本)			充実度(mg/cm)		
本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差
12.1	12.4	98	2.2	2.1	0.1	1.33	1.30	102	1.09	1.05	0.04

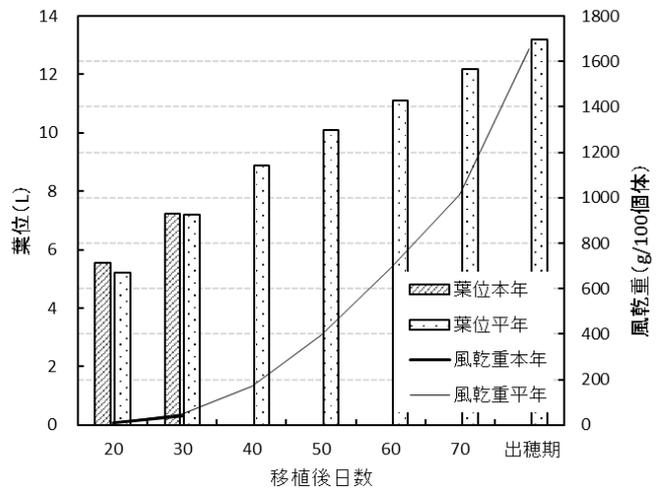
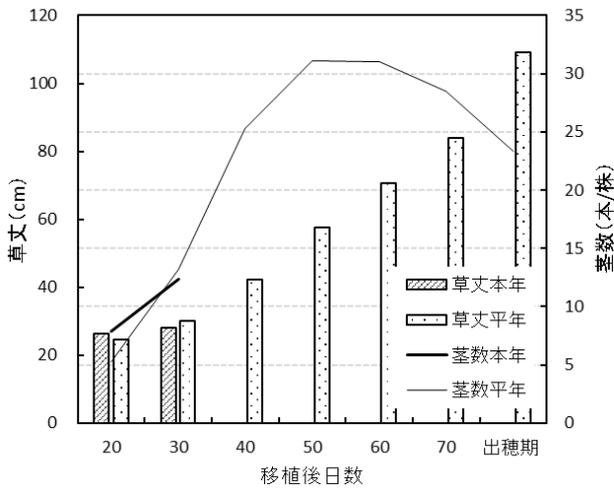
注) 平年値は平成11年～令和6年の平均(H22を除く)。平年比は%、充実度は風乾重/草丈。

(2) 本田生育

移植後 日数	草丈(cm)			茎数(本/株)			葉位(L)			風乾重(g/100本)		
	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比
20	26.4	24.5	108	7.9	5.3	149	5.5	5.2	0.3	10.7	11.7	91
30	28.1	30.2	93	12.4	13.2	94	7.2	7.2	0.0	39.3	47.8	82

注) 平年値は平成11年～令和6年の平均(H22を除く)。平年比は%

(3) 生育経過

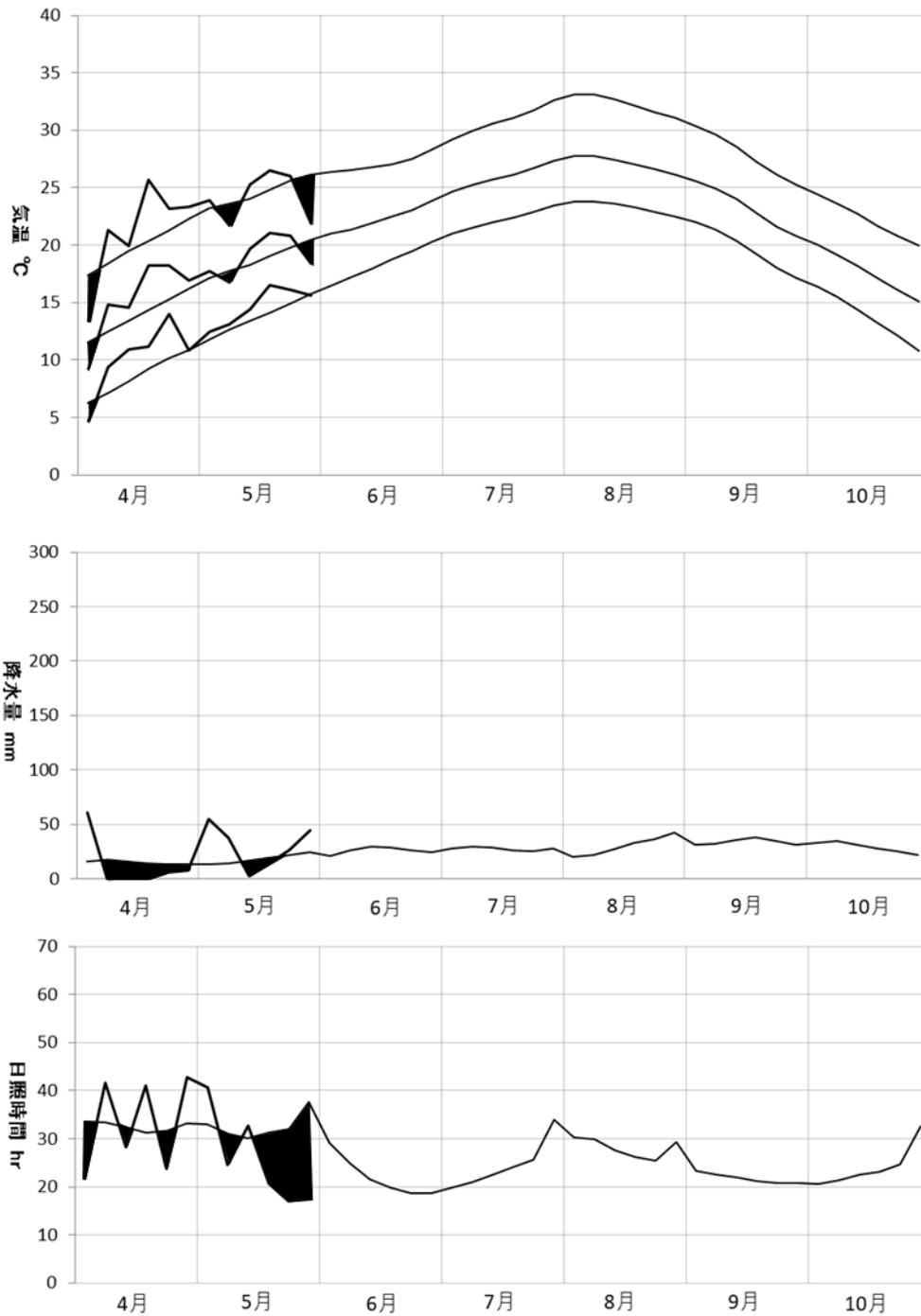


3 早植栽培（5月20日植 彩のかがやき）

(1) 苗質

草丈(cm)			葉位(L)			風乾重(g/100本)			充実度(mg/cm)		
本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差
11.0	12.7	87	2.5	2.2	0.3	1.33	1.40	95	1.20	1.10	0.10

注) 平年値は平成12年～令和6年の平均。 平年比は%



令和7年夏作期間気象図

(熊谷气象台日別測定値から作成)